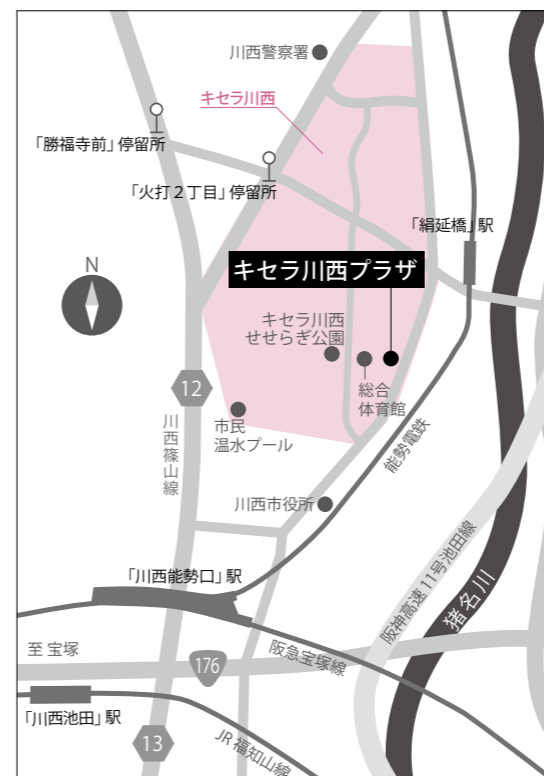


# まちの新たな にぎわいを創出



9月25日(火)から順次開館するキセラ川西プラザ。  
機能を集約することで利便性も向上します。  
特集では新たな施設の3つの機能を紹介します。  
詳しくは文化・観光・スポーツ課 ☎(740)1106へ。



**阪** 急・能勢電鉄「川西能勢口」駅から、北に約600mに位置する「キセラ川西」。歩いて暮らせるコンパクトなまち「次世代型複合都市」をめざし整備が進められています。  
そのキセラ川西の東側に完成した複合施設「キセラ川西プラザ」が9月25日(火)から順次開館します。  
コンセプトは「であいとふれあいの文化・交流スペース」。豊かな暮らしをつくる場をイメージしています。  
文化棟の主要施設は、1000人を収容可能なキセラホール。その他に遮音性の

高いスタジオや大会議室が入ります。  
福祉棟には、川西公民館や予防歯科センターなどを配置。また、県内初の機能を備えた相談支援施設「こども・若者ステーション」を開設します。  
その他にも、来館者が気軽に利用できるフリースペースや談話コーナー、元東京ヤクルトスワローズで名誉市民の古田敦也さんゆかりの品を展示するギャラリーも設置します(8ページ参照)。  
人と人との交流やにぎわいをつくり出す新たな場所がいよいよオープンします。



## キセラホール 新たな文化の発信地

音楽ライブから伝統芸能まで  
市内最大のホール



**キ** セラホールは、高い機能と設備を備えたプロセニアム形式(観客から見て舞台を額縁のように区切った形式)で造られた、市内最大のホールです。  
客席の壁面デザインは、せせらぎのゆらぎのモチーフを採用。ホール全体を包み込み、演者と観客が一体となる空間を演出します。  
座席はゆったりと座れるスペースを確保。車いすで鑑賞できる席を入り口付近に用意した他、小さな子ども連れでも気軽に利用できるよう、防音仕様の親子席を10席用意しています。  
ホール外のホワイエの壁は、左官の職人によって仕上げられたもので、落ち着いた雰囲気を出します。  
また、ホールへ向かう、黒を基調とした通路は、これから上演される演目への期待を高めてくれます。  
舞台は、3管編成のオーケストラが配置できる十分な広さを確保。  
集会や式典などの催しから、舞台芸術や本格的なコンサートまで、さまざまなニーズに応えます。

## 出演者全員が新ホールでのステージを心待ちに

11月25日(日)に、キセラホールのオープニングフェスティバルの一つとして、46回となる川西合唱祭を開催できることになり、とても楽しみにしています。

着工の時から、建物がだんだんと出来上がっていく様子を見て、ずっとわくわくしていたんです。



オープニングフェスティバル  
に出演を予定

川西合唱連盟理事長  
堀田啓子さん

これまで文化会館で開催してきましたが、新たにできるキセラホールは、設備面はもちろん、音の響きやピアノのグレードなどが良くなっていると聞いています。

それに、意外と練習場所の確保に困ることがあるんですね。遮音性の高いスタジオができるそうなので、周りを気にせず歌える場所が増えるのは、とてもありがたいですね。出演するメンバー、上は90歳から下は幼稚園児までと幅広いのですが、皆さん新しい会場で歌えることを本当に楽しみにしているんですよ。例年より早く練習を始めるほどです。ぜひたくさんの人に聞きに来ていただきたいですね。

また、体育館や福祉関係施設、公園などがホールの近くにまとまっているので、合唱にあまり興味がなかった人でも、今度行ってみようかなというきっかけになればと期待しています。



# 妊娠・出産・子育てから 若者まで一貫して支援



こども・若者ステーション  
青少年センター

サポートルーム

沐浴槽

## こども・若者ステーションの主な事業一覧

【問い合わせ】こども・若者ステーション ☎(740)1248

### 一時預かり

- ▶日時=平日午前9時—午後5時半
- ▶対象=1歳以上の未就学児
- ▶内容=家庭の事情で保護者が面倒を見られない子どもを一時的に預かる
- ▶費用=30分当たり200円
- ▶その他=利用登録(受け付けは9月3日(月)~)と事前予約が必要

### プレイルーム

- ▶日時=平日午前9時—正午、午後0時半—3時
- ▶対象=未就学児と保護者
- ▶内容=子育て情報の提供や相談、親同士の交流会の他、遊びのイベントなども実施。相談員が地域に出向き、交流会や講座などの開催も行う

### 産後ケア事業

- ▶場所=市内の助産所や医療機関、自宅
- ▶対象=市内在住の6カ月未満の子どもと母親。助産師

などによる心身のケアが必要で、退院後に家族や親族からの支援が難しく、また、母子ともに感染症などにかかっておらず医療行為が必要でない人

- ▶内容=健康管理や産後の生活のアドバイス、<sup>もくよく</sup>沐浴や授乳の指導など。市内の助産所や医療機関が行う「宿泊型」「日帰り型」と、自宅に助産師が訪問する「訪問型」があります
- ▶費用=宿泊型1日3,000円(最大6泊7日まで)、日帰り型1日2,000円(最大7日まで)、訪問型1回2時間1,000円(最大3回まで)

### 若者の総合相談窓口

- ▶日時=電話相談は月~金曜日(祝日・第3月曜日を除く)午前9時半—正午、午後1時—5時。来所相談は予約制
- ▶対象=ひきこもりやニート、不登校などで悩むおおむね中学卒業後~39歳の人と保護者
- ▶内容=就労など自立に向けた相談を受けます

師や保育士、臨床心理士などの専門職を配置。子育てに不安や困難がある家庭、社会的自立に向けて支援が必要な若者など、状況に応じて、各専門職が対応します。

また、落ち着いて相談できる相談室も完備しています。子育てに対する支援では、子育てに不安や負担のある家庭に、保健センターなどが行っている、さまざまなサービスの利用計画を提案。継続的な支援を行います。

また、「一時預かり」や「プレイルーム」の他、産後に心身の不調や育児不安があり、家族などから十分な家事・育児の援助が受けられない人への「産後ケア」を実施。産後ケアは、しまぎ助産院をはじめ、川西市川辺助産師会、高橋産婦人科、第二協立病院、Mommy's Care Houseなどで、準備が整い次第行う予定です。

若者への支援では、相談者がほっとできるよう、掘りごたつのあるサポートルームを用意。講座の開催や親の会の情報交換会なども実施し、社会参加のきっかけをつくり、就労などにつなげます。

## こども・若者ステーション

### 県内初の相談支援施設

保健師や保育士、臨床心理士などの専門職を配置  
さまざまなサービスの利用計画を提案

キ セラ川西プラザに新たに開設される相談支援施設「こども・若者ステーション」。妊娠や出産、子育て期の子育て支援から、引きこもりの相談や青少年育成団体の活動支援といった若者支援までを一貫して行う県内初の施設です。

これまで中学を卒業すると、本人や家庭への支援が途切れてしまうことが課題となっていました。同ステーションの開設で、継続的な支援を実現していきます。

同ステーションでは主に相談支援業務を行います。保健

## 不安を抱えるお母さんをサポート

昔、日本では自宅出産や助産院での出産が多く、お母さんと赤ちゃんの愛着形成が自然にできていました。それに大家族で暮らしていたので、お母さんが一人で育児をすることも少なかつたんです。

今は核家族化し、お母さんが一人で育児をすること



黒川地区の助産院で産後ケアを受け付け

助産師  
島崎明代さん

で、産後の育児不安を感じやすい原因になっていると思います。マタニティブルーや産後うつとともに、社会問題にもなっていますよね。

私もそうだったんですが、育児不安は誰もが経験します。そんなお母さんたちのサポートができればと、今回、助産院とは別に産後ケアに特化した施設を作り、産後ケア事業のお手伝いをさせていただくことになりました。

助産師7人が、不安を抱えているお母さんとゆっくり話し合いながら、必要なケアを提供していきます。

また、その時に担当した助産師がマイ助産師として、退所後も相談できる体制を作っていきたいと考えています。マイ助産師は、妊娠・出産・子育てにおいて、同じ助産師が切れ目のないサポートを提供するニュージランドの制度です。

出産や育児に悩むお母さんたちを減らすため、産後ケアとともに、この制度を川西市でも広めていきたいと思っています。

## 相談することが解決のきっかけに

今、市が行っている若者相談は隔週で1回やっています。毎回2、3件の相談を受けています。集団生活や人との関わりが難しいという人が多いですね。

思春期に友達とうまくいかなかったという人もいれば、発達障がいや精神疾患が要因という人もいます。



これまで市内で数多くの若者相談を担当

臨床心理士  
佐藤佳子さん

「どこに相談したらいいのか分からない」「時間が経てば何とかかなと思って見守っていたら、こんなに時間が経ってしまった」という人も珍しくありません。

これまで相談を通じて、ひきこもり状態から社会に適応できた人をたくさん見てきました。高校や大学を中退したからダメな人生ではなくて、こういう道もあるんだと思って納得して進められるような、いろいろな選択肢がある社会になればいいなと感じています。

また、周りの人たちも、本人が「失敗してもやり直せるんだ」と思えるように、認めてあげて、温かい手を差し伸べてほしいと思います。

10月から相談窓口になる、こども・若者ステーションには、気軽に居られる場所があります。そういう場所って、社会とのつながりを保つことができる大切な場所になるんですね。

自分だけでは解決しなくても、相談することで解決のきっかけや新たな選択肢が見つかる可能性があります。ぜひ相談窓口を利用してもらえたらと思います。





ライトコート(イメージ)

交流の場

## 出会いとふれあいの空間

誰もが気軽に訪れることのできる場所  
人と人がつながりにぎわいをつくる広場

**誰**もが気軽に訪れること  
ができ、施設利用者や  
地域住民などが交流できる場  
が用意されています。

福祉棟1階には、フリース  
ペースを配置。ちょっとした  
休憩はもちろん、友人とのだ  
らんや打ち合わせに最適。

また、2階にはライブブラ  
リーコーナーを用意。書籍や  
雑誌、新聞などを取りそろえ、  
訪れた人がくつろぎながら、  
自由に閲覧できる場所になっ  
ています。

同棟中央に位置する、中庭  
「ライトコート」は、利用者  
の憩いの場となります。

敷地内には風と緑のゆらぎ  
を感じ、人と人をつなぐ  
役割の異なる広場を整備。四  
季の移ろいを感じられるよ  
う、たくさん植栽や花壇な  
どを配置しました。

「集いの広場」は文化棟と  
福祉棟の入り口につながる広  
場。キセラ川西プラザの顔に  
もなり、シンボルとなるエド  
ヒガンの並木が訪れた皆さん  
を出迎えます。

「出会いの広場」は、落ち  
着いて休憩でき、施設利用者  
と地域住民が出会うきっかけ  
の場となります。



花と緑の広場・ふれあい広場(イメージ)

季節によって表情を変える  
「花と緑の広場」と、起伏の  
ある芝生広場の「ふれあい広  
場」は、市民活動やイベント  
なども対応可能。

また、キセラ川西せせらぎ  
公園に面した場所にあり、同  
公園と一体化することで、開  
放的な空間となっています。

### 活動や交流が活発になるきっかけの場に



ひととまちをつなげる  
さまざまな活動を展開

街はカーニバル!!  
プロジェクト代表幹事  
荻田雅仁さん

ちょっとしたことでも集まれ  
る、公共の空間ができるのはあ  
りがたいですね。

こういった施設や広場が新た  
にできることで、いろいろな  
活動や交流が活発になる、い  
いきっかけになるんじゃないで

しょうか。  
自分たちが活動する中で、人  
が一番の財産だということを強  
く感じています。

新しくできる広場などが、人  
を生かせる場になればと期待し  
ています。

## キセラ川西プラザフロアガイド

FLOOR GUIDE



### 文化棟

キセラホール  
大会議室  
スタジオ

### 福祉棟

1階 (社福)市社会福祉協議会  
地区福祉委員会  
市民生委員児童委員協議会連合会  
市障害者団体連合会  
市身体障害者福祉協会  
市身体障害児者父母の会  
NPO 法人「市手をつなぐ育成会」  
むぎのめ家族会  
市障害者共働作業所あかね

(社福)むぎのめ むぎのめ作業所  
古田敦也メモリアルギャラリー  
2階 予防歯科センター  
市ふれあい歯科診療所  
(一社)市歯科医師会  
市歯科医師会立 訪問歯科センター  
食育推進ルーム  
こども・若者ステーション 青少年活動ルーム  
市ボランティア連絡協議会  
市老人クラブ連合会  
共用会議室  
ライブラリコーナー  
3階 県川西こども家庭センター  
こども・若者ステーション/青少年センター  
こども・若者ステーション サポートルーム  
川西公民館

## 新たな文化の発信地となることを期待

9月25日にいよいよ「キセラ川西プラザ」が開館します。その中には、こども・若者ステーションや川西公民館、市社会福祉協議会、県川西こども家庭センターなど、さまざまな機関が入居し、福祉・保健・公民館機能を兼ね備えた複合施設として、その歩みをスタートさせます。

また、44年間、市の文化の拠点として市民の皆さまに親しまれた文化会館がその幕を下ろし、新たにキセラホールが誕生します。

多目的ホールとして歌や演奏、演劇、ダンスなどの鑑賞の場として、また発表の場としてなど、いろいろなニーズにお応えできるものとなっています。

11月1日から始まるキセラホールオープニングフェスティバルでは、幅広いジャンルの団体が出演し、日頃の練習の成果を発表されます。ぜひご来場いただき、お楽しみいただければと思います。



文化・観光・スポーツ課  
課長 西川明宏

また、31年1月4日からは一般利用も始まります。ホールの特徴を生かしたイベントをこれまで以上に開催するなどし、たくさんの方の皆さまにご利用いただき、新たな文化の発信地となることを期待しています。

そしてもう一つ、福祉棟の1階に、名誉市民である古田敦也さんの数々の功績を紹介するメモリアルギャラリーがオープンします。

「であいとふれあいの文化・交流スペース」というコンセプトの通り、市民の皆さまが出会い、ふれあう場所や機会をつくり、未永く愛される施設に育てていきたいと考えています。